

昭和41年ビートルズ 来日武道館公演

飄

々

広報委員

吉川 功一

辞書で「飄々」の意味を調べると、「性格・態度が世俗を超越していて、とらえどころがないさま。ぶらぶらと、あてどもなくさまようさま」とあります。私が「飄々」欄を担当するのは今回で3回目ですが、過去2回ともビートルズコレクターとして、自己紹介とも自己満足とも、なんともとらえどころのないような原稿を載せていただきました。で、今回は・・・懲りずに3回目、参ります。あまりに「飄々」としたこの展開、どうぞお許してください。1回目は「イギリスオリジナル盤レコード」、2回目は「日本盤レコード特有の帯」についてでしたが、3回目の今回は、「ビートルズ来日公演」にまつわるお話をさせていただきます。

世界中でブームを巻き起こしていたビートルズがついに来日、日本公演を行ったのは1966年(昭和41年)の出来事でした。台風による影響でビートルズの日本到着は予定より遅れに遅れて、6月28日のなんと午前3時39分(!)でした。超早朝の羽田空港に到着した4人がお揃いのはっぴを着て飛行機のタラップから降りてくる姿は事あるごとにテレビで流れるので、おそらく見たことのない方はいらっしやらないと思います。

公演は6月30日の夜、7月1日の昼・夜、7月2日の昼・夜の計5回、日本武道館で行われました。日本武道館はご存じの通り、昭和39年に開催された東京オリンピックの柔道競技会場として建設されたもので、当時はまだ「日本武道の聖地」的な意味合いが強い場所でした。この

ため世界中でブームになっているとはいえ、当時の大人たちは「汚らしい長髪で不良の象徴エレキギターをかき鳴らす不良グループのコンサートなどとんでもない！」という論調が強く、会場として決まるまでには、かなりの紆余曲折があったようです。当時の武道館会長で読売新聞社主の正力松太郎が「あの“ペートル”なんとかちゅうのは、ありゃなんだね。そんなもんを武道館に入れるわけにはいかんよ」と武道館使用を拒否。面白がったマスコミはこの問題を大々的に報道。大げさでも何でも無く、日本中で賛否両論渦巻くかなりの騒ぎとなったようです。幸い、ビートルズは前年の1965年に「イギリスに外貨獲得の国益をもたらした功績」により大英帝国勲章MBEを受勲しており、最終的には「エリザベス女王から勲章をもらったイギリスの功績者を無碍に扱うわけにもいかぬであろう」という判断で無事に武道館使用の許可が下りたのは、公演日のわずか24日前の6月6日の出来事でした。「日本武道の聖地」であった武道館が、ビートルズが公演を行ったことでその後、アーティストたちにとって「コンサートの聖地」となったことは今では周知の事実です。

ここでトリビアを一つ。ビートルズはデビューした1962年から、ライブ活動を止めてしまう1966年までの5年間に、合計14か国(イギリス、ドイツ、スウェーデン、フランス、アメリカ、デンマーク、オランダ、香港、オーストラリア、ニュージーランド、イタリア、スペイン、日本、フィリピン)で300公演以上のライブを行っています。

公演の様子を捉えたテレビ放送用白黒映像や断片的なニュース映像、不完全収録のカラー映像、オーディエンスショットの8mm映像などは世界中に多数残されているものの、「ビートルズの公演全体を最初から最後までカラーできちんと収録したプロショット映像」は、実は我々が日本の武道館公演だけなのであります。そういった意味でも非常に貴重かつ有名な公演で、世界中の熱心なビートルズファンなら“BUDOKAN”の名前を知らない人はいないと思います。映像が残された理由は、武道館に行くことができないファンのために（実際、この時代、地方の学生ファンがコンサートを観に上京するなんてとんでもない不良行為であり、実行すれば退学処分ものだったそうです）コンサートを収録して特別番組として全国放送したいという日本側の強い要請が聞き入れられたため、収録された映像は7月1日の21時より1時間の特別番組とし日本テレビ系列で全国カラー放送されました。ちなみに当初、放送用に6月30日の夜公演が収録されましたが、ビートルズのマネージャーが「ビートルズを目の当たりにして熱狂するファンの姿を捉えたシーンが足りない」という理由で映像にOKを出さず、急遽7月1日の昼公演を収録しなおして、なんとか放送にこぎ着けられました。幸い、映像はどちらも現在でも残っており、6月30日はメンバーが濃いグリーンのスーツを、7月1日は白っぽいスーツを着ていることから容易に見分けられ、YouTubeなどでも一部は観ることができます。6月30日版のみ過去に公式発売されたことがありますが、現在は廃盤となっています。肝心の演奏はすでにライブ活動への熱意を失ってしまっていた時期だけに（実際、この年の8月のアメリカ公演を最後に、ビートルズはライブ活動を止めています）、残念ながら締まりの無い演奏が目立ちますが、セットリストが良いだけに（「Nowhere Man」や「Yesterday」、「Paperback Writer」など）その貴重さが色褪せることはありません。

そんな貴重なビートルズ来日公演ですが、私を含む熱心な(?)ビートルズコレクターたちにとっては伝説の「ビートルズ来日公演」にまつわる品々

がコレクション対象となるのは、ごく自然な流れなのであります。前置きが長くなりましたが、私が手に入れた「ビートルズ来日公演」に関連するお宝をいくつか紹介させていただきます。

まずチケットですが・・・、当初3公演（チケット3万枚）の予定だった武道館公演、当然のごとくチケット入手希望者が殺到、その後追加2公演が決定し最終的に合計5公演、チケット5万枚が発売されることになりました。その入手ルートですが、①主催者・読売新聞による抽選販売（はがき応募）、②ビートルズファンクラブ「BFC」による抽選販売（はがき応募）、③東芝音楽工業による懸賞（ビートルズのレコードを購入すると応募できる懸賞）、④興行主の共同企画によるタイアップ販売（共同企画が呼んだ他の外国人アーティスト公演チケットを買うとビートルズのチケットが優先的に購入できる）、⑤日本航空によるタイアップ販売（伊丹→羽田の航空券を購入するとビートルズのチケットがついてくる）、⑥広告主のライオンによる懸賞（ダイヤモンド歯磨き、もしくは制汗剤パンを購入すると応募できる懸賞）の6通りがありました。

①②は当選倍率は10倍を超える難関、③の当選確率は更に低く、④⑤は当時の中高生ファンにとっては夢のまた夢、とても非現実的なものでした。しかし、何とかしてチケットを手に入れた中高生ファンたちは、藁にもすがる思いで⑥を狙って「歯磨き粉を山のように買って応募」したそうです。たくさんの中高生ファンがビートルズを見るために歯磨き粉を山ほど買って応募したというのは比較的有名なエピソードのようで、2017年放送のNHK朝ドラ「ひよっこ」の中でも、主人公のみね子が「ダイヤモンド」ならぬ「ダイヤモンド歯磨き」を山ほど買ってビートルズ公演チケットを狙って、たくさんのはがきを送るなんていうシーンがありました。

で、私のコレクションですが、写真①上がその広告主・ライオンによる懸賞告知の新聞広告、写真①下がその応募のために購入しなければならなかった歯磨き「ダイヤモンド」の実物・中身入り、写真②上がその当選品のチケットです。しかし、日本広しといえど令和の時代にこの歯磨きの実物



写真①

を持っている人はあまりいないと思います。多くの方は見て呆れるでしょうが、コアなビートルズコレクターは案外欲しがらる歯磨き粉です(笑)。また、当選品ですが「チケット実物しかも未使用品、当選通知書と実際に当選者に送られたままの状態の封筒付き」は非常に貴重で、日本にも世界にも2つと残っていないかもしれません。

ちなみに、ビートルズ武道館公演のチケットは使用済(半券)のものでもかなり人気があり、なかなかの高値で取引されています。よく出てくるのは、もっとも販売枚数の多かったA席(各公演約10,000席のうち約8,000席)で、約1,200席しかなかったB席はレア、さらに350席しかなかったC席は超レアものとなっています。写真②下は上からA席、B席、C席のチケット(いずれも未使用品・半券)です。本稿は白黒写真しか掲載できないのでわかりにくいと思いますが、実際は大きなTHE BEATLESの文字がA席が黒、B席が赤、C席が青になっており一目瞭然です。今回はチケット関連をお見せしましたが「ビートルズ来日公演」関連グッズはその他さまざまな物があり、とても人気があります。

せっかくなので、最後に会場で売られた武道館公演パンフレットも載せておきましょう(写真③)。パンフレット自体はいまでも比較的市場に出てきますが、封入されていたポートレート(羽田でタラップから降りてくる4人の姿)は欠落していることが多く貴重です。さらにこのポートレートには2種類あり、写真③左端のものは



写真②



写真③

ピンボケ写真のため、すぐに回収された最初期タイプで更に貴重、もっと言うと羽田で撮った写真を大急ぎでポートレートにしてそれこそインクが乾く前にパンフに差し込まなければならなかったため、インクがパンフについてしまわぬよう挿入された「保護紙」まで残っているものは滅多になく、この保護紙付きのものとなると、そうそう市場に出てこない超レアものということになります。なんとも理解しがたいコレクターの世界・・・ここまで読まれて多くの方はあきれ果てておられることと思いますが、こんな原稿を最後まで読んで

くださったということですから、本当にありがとうございました。あ、そうそう、最後に注意です。これらの「ビートルズ来日公演」チケット・パンフレット類、人気があるだけに複製品・偽造品もたくさん出回っているのだからくれぐれもご注意ください。もし入手を検討されている方がいらっしゃいましたら、私が真贋鑑別ポイントをお教えいたしますので、いつでもご連絡くださいませ！（そんな方いないか？笑）

「若き日（青春時代）の思い出」原稿募集

「若き日（青春時代）の思い出」をご紹介いただける投稿を募集いたします。

投稿規程

字数：1,500字程度

- 1) タイトルをお付けください。
- 2) 他誌に未発表のものに限ります。
- 3) 同一会員の掲載は、原則、年3回以内とさせていただきます。
- 4) 編集方針によって誤字、脱字の訂正や句読点の挿入等を行う場合があります。また、送り仮名、数字等に手を加えさせていただくことがありますので、ある意図をもって書かれている場合は、その旨を添え書きください。
- 5) ペンネームでの投稿は不可とさせていただきます。
- 6) 送付方法は電子メール又はCD-R、USBメモリ等による郵送（プリントアウトした原稿も添えてください）をお願いします。
- 7) 原稿の採用につきましては、提出された月の翌月に開催する広報委員会で検討させていただきますが、内容によっては、掲載できない場合があります。

【原稿提出先】

山口県医師会事務局総務課内 会報編集係

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県総合保健会館5階

TEL：083-922-2510 FAX：083-922-2527

E-mail kaihoushou@yamaguchi.med.or.jp